

# 日本農薬学会第32回大会プログラム

日時：平成19年4月1日(日)～4日(水)

会場：東京農工大学小金井キャンパス 〒184-8588 小金井市中町 2-24-16  
府中の森芸術劇場 (4月2日のみ) 〒183-0001 府中市浅間町 1-2

## 大会日程

4月1日(日)

市民フォーラム 東京農工大学 小金井キャンパス講義棟 13:30～16:30

4月2日(月)

府中の森芸術劇場

総会および日本農薬学会賞授賞式 ふるさとホール 9:30～11:30

1. 総会：会務報告、会計監査報告、議事
2. 日本農薬学会賞授賞式

## 受賞者講演

### 奨励賞

伊原 誠 (近畿大学) 11:30～11:50

安田美智子 (理化学研究所) 11:50～12:10

### 業績賞(技術)

佐野慎亮、笠原 勇、山中 誉 (日本曹達) 13:30～13:55

高橋義行、荻山和裕 (日本植物防疫協会) 13:55～14:20

永山孝三、渡辺 哲、熊倉和夫、市川 健、牧野孝宏 14:20～14:45

(クミアイ化学・静岡県農業試験場)

### 業績賞(研究)

中川好秋 (京都大学大学院) 14:45～15:15

## 特別講演

山口五十磨 (前橋工科大学・教授) 15:30～16:30

山口 勇 (農薬検査所・前理事長) 16:30～17:30

懇親会・受賞祝賀会 平成の間 18:00～20:00

4月3日(火)、4月4日(水)

一般講演、シンポジウム、ワークショップ、ランチョンセミナー

東京農工大学 小金井キャンパス講義棟など 8:45～

## 平成 19 年度 日本農薬学会賞受賞者講演

4月2日(月) 府中の森芸術劇場 ふるさとホール 11:30 ~ 15:15

### 奨励賞

伊原 誠 (近畿大学)

「殺虫剤のリガンド作動性イオンチャネルに対する作用機構研究」 (座長:田中啓司)

安田美智子 (理化学研究所)

「植物の全身獲得抵抗性誘導剤の作用機構に関する研究」 (座長:杉山民二)

### 業績賞(技術)

佐野慎亮、笠原 勇、山中 誉 (日本曹達)

「殺菌剤シフルフェナミドの開発」 (座長:芳賀隆弘)

高橋義行、荻山和裕 (日本植物防疫協会)

「農耕地における農薬の動態解析と評価法の開発」 (座長:内田又左衛門)

永山孝三、渡辺 哲、熊倉和夫、市川 健、牧野孝宏 (クミアイ化学・静岡県農業試験場)

「イネ種子伝染性病害用微生物農薬トリコデルマ剤の開発」 (座長:有江 力)

### 業績賞(研究)

中川好秋 (京都大学大学院)

「昆虫成育制御剤の構造活性相関および作用機構に関する研究」 (座長:利部伸三)

## 特別講演

4月2日(月) 府中の森芸術劇場 ふるさとホール 15:30 ~ 17:30

山口五十磨 (前橋工科大学・教授)

「ジベレリン生理作用の多様性発現機構解明に向けたアプローチ」 (座長:浅見忠男)

山口 勇 (農薬検査所・前理事長)

「農薬の登録検査と基礎研究」 (座長:安部 浩)

## 市民フォーラム

「第6回農薬ゼミ：北野 大さんの、ちゃんと知らなきゃ！！」

(農薬工業会との共催)

世話人：本山直樹

4月1日(日) 東京農工大学小金井キャンパス

13:30 ~ 17:30

A会場(講義棟 0026 番教室)

解説者：北野 大 (明治大学)、本山直樹 (千葉大学)

真板敬三 (残留農薬研究所)

司会：雲野右子

## シンポジウム

：「ブレイクスルーをもたらす農薬デザイン」

(農薬デザイン研究会との共催)

4月3日(火) A会場(講義棟 0026 番教室)

13:30 ~ 18:30

オーガナイザー：三尾 茂

1. New Strategies of finding novel pesticides from molecular design and chemical modification

Zhong Li, Xuhong Qian (上海華東理工大学)

(座長：梅津憲治)

2. Breakthrough innovations in crop protection research

Peter Maienfisch (Syngenta Crop Protection AG)

(座長：田中啓司)

Short Presentation: 9件 (ポスターセッションも行う)

：「ポジティブリスト制度の施行と対応」

(農薬残留分析研究会との共催)

4月4日(水) A会場(講義棟 0026 番教室)

13:30 ~ 16:00

オーガナイザー：小林裕子・永山敏廣

1. ポジティブリスト制度の施行と対応

横田敏恭 (農林水産省消費・安全局)

(座長：中村幸二)

2. ポジティブリスト制度施行後における輸入食品の残留農薬違反状況

田中 誠 (厚生労働省医薬食品局)

(座長：中村幸二)

3. 農薬のドリフト対策とその課題

松尾一穂 (JA 全農)

(座長：小林裕子)

4. ポジティブリスト制度と日本生協連の対応

和田伊知朗 (日本生協連)

(座長：永山敏廣)

：「**農業科学の最前線**」

4月4日（水） B会場（13号館 1321番教室） 13：30 ~ 16：00

オーガナイザー：夏目雅裕・有江 力

- 1．クオラム・センシングの農業への応用  
篠原 信（野菜茶業研究所）（座長：杉山民二）
- 2．有機相溶二相合成反応系の構築と化学プロセスへの応用  
千葉一裕（東京農工大学大学院）（座長：杉山民二）
- 3．植物抵抗性遺伝子の多様性獲得機構：低農薬なオーダーメイド抵抗性育種へ向けて  
平野 恒（農業生物資源研究所）（座長：寺岡 徹）
- 4．種子とバイオテクノロジー：バイエルクロップサイエンス社における作物の改良  
Claude Lambert（バイエルクロップサイエンス）（座長：寺岡 徹）

**ワークショップ**

「**超臨界流体抽出技術の農薬残留分析への利用と展望**」

（農薬残留分析研究会との共催）

4月3日（火） B会場（13号館 1321番教室） 13：30 ~ 16：00

オーガナイザー：上野民夫、小松一裕、安部 浩

- 1．超臨界流体技術の基礎と工学的応用：現状と今後の展開  
内田博久（信州大学）
- 2．超臨界流体抽出法による農薬残留分析：農産物生産の立場から  
安藤 孝（宮崎県総合農業試験場）
- 3．超臨界流体抽出法による農薬残留分析：食品衛生の立場から  
飛野敏明（熊本県保健環境科学研究所）
- 4．食品中残留農薬分析に対する超臨界流体抽出の適用について  
根本 了（国立医薬品食品衛生研究所）
- 5．超臨界二酸化炭素を用いた残留農薬自動抽出システムの紹介  
堀川愛晃（日本分光）

## ランチョンセミナー

世話人：佐藤 清

4月3日（火） D会場（1号館 0111 番教室）

12:10 ~ 13:20

「Residue studies in North America based on EPA guidelines and harmonized OPPTS guidelines」

Phillip Cassidy (Ricerca Biosciences, LLC)

（座長：的場好英）

4月4日（水） D会場（1号館 0111 番教室）

12:10 ~ 13:20

「ポジティブリスト対応試験の実施に向けて（1）ミニカラム使用のコツ

（2）LC/MS/MS ポジティブリスト一斉分析対応システムについて」

佐々木俊哉、佐藤 太（日本ウォーターズ）

（座長：石坂眞澄）

なお、弁当券（無料、先着 100 名）は当日大会受付にて配布します。

### 一般講演およびシンポジウム等の日程表

平成19年		A会場 (講義棟 0026)	B会場 (13号館 1321)	C会場 (13号館 1331)	D会場 (1号館 0111)
4月3日 (火)	8:45 ~ 12:00*	環境科学	作用機構 毒性	生物活性 (植物)	
	12:10 ~ 13:20				ランチョンセミナー
	13:30 ~	シンポジウム**	ワークショップ		
4月4日 (水)	8:45 ~ 12:00*	残留・分析法	代謝・分解 環境科学 生態影響	生物活性 (微生物) (昆虫)	
	12:10 ~ 13:20				ランチョンセミナー
	13:30 ~ 16:00	シンポジウム	シンポジウム		

\* 3日A会場、4日A・B会場は9:00の開始です。

\*\* ポスター発表をE会場にて開催します。